

◆区政運営の基本的な姿勢について

①変化する社会経済情勢への対応。②区政運営はリーダーシップが重要。決意は。

◆東日本大震災について

①被災地の状況と区の対応。②区内への避難者の状況と今後の対応は。③区の避難所の運営の変化は。

◆今後の財政運営について

①震災の影響も含め、今年度の財政状況の認識と国庫支出金影響額は。②震災の影響による長期計画の対応は。

◆区長の基本姿勢について

①区政の総括は。②区民に政策の説明を。③行政改革の更なる推進を。④震災に伴う財政の影響額は。⑤子ども手当の対応は。⑥今後の財政運営は。⑦保育園の待機児童の解消と高齢者施設の増設は。

◆区民生活について

①被災者の就労支援を。②不況対策特別貸付等を運用。③柔軟に対応し、制度を周知。④区内事業者優待等を行う。

◆防災対策について

①震災の対応は。②地域防災計画の見直しを。③避難拠点の増設を。④避難拠点に大型発電機の導入を。⑤備蓄倉庫の内容の見直しを。⑥災害用トイレ設置を。⑦帰宅困難者の対応を。⑧災害時要援

◆区民生活

①消費の縮小等を懸念。産業経済団体等と情報交換し、区内経済への影響を最小化。②買い物支援事業等の検討を開始。③積極的に進める。④ニーズ調査を行い、運営方法を意見交換する。

◆区内経済の振興策について

①震災や福島原発事故が区内経済に及ぼす影響の認識と今後の対応策は。②商店街の活性化は、区民生活の向上に重要である。新たな方策を。③区内事業者の入れへの参加を促進する育成策を。④練馬駅北口有地に建設される(仮称)産業振興会館の整備と運営は、産業経済団体等と連携を図れ。

◆今年夏の節電対策について

①周知方法と節電実行計画の特長と区民への影響は。②熱中症対策として、家庭で過ごすより地区区民館等の利用促進策を。③環境まち。④臨時区報等で周知。区民サービスは維持する。⑤来館者の健康管理に配慮。⑥放射線等の測定について

震災の影響に対応する 中小企業対策強化を！

練馬区議会自由民主党 村上悦栄

震災対策を強化し 区民生活をまもれ！

練馬区議会公明党 宮原義彦

◆中小企業振興について

①中小企業の環境整備を。②産業融資あつせん制度のさらなる充実と適切な対策を。③商店街の空き店舗の出店支援事業では審査時間の短縮や通年募集を。また、募集事業者数の増と優良物件のリストラの実現を。さらなる空き店舗入居促進事業の充実を。

◆「ねりま未来プロジェクト推進構想」について

①「練馬区基本構想」と併せた検討状況と今後の見通しは。②「防災拠点機能」として、「しきめん」に集客・収容施設を整備することが重要。区の見解は。

◆「ねりま未来プロジェクト推進構想」について

①「練馬区基本構想」と併せた検討状況と今後の見通しは。②「防災拠点機能」として、「しきめん」に集客・収容施設を整備することが重要。区の見解は。

区政を問う

一般質問(要旨)

◆事業継続計画(BCP)と同マネジメントについて

①被災者支援システムの一層の活用を。②実情に即した地域防災計画の見直しは。③BCPの策定を。④マネジメントの点検・検証を。

◆集合住宅の防災対策について

①集合住宅用マニュアルの作成と配布を。②高層住宅への階段用避難車の貸出拡大を。③都指定避難場所のトイ

◆放射能対策について

①放射線量の測定箇所と測定回数拡大を。②国へ財源措置の要望を。③降水時に学校プールの水質測定を。④生活環境内の高さにモニタリングポストを設置を。⑤測定結果を早期にHP・安全安心メールで周知を。⑥区民へ測定機器の貸出しを。

放射能測定を実施し 安心・安全な練馬へ

練馬区議会公明党 内田ひろのり

◆環境まち

①歩行者デッキ、駅前広場を整備する。ユニバーサルデザインを考慮。②商店街と共に取り組む。③地区計画で整備方針に位置付ける。

◆「関係越高架下活用計画」について

①関係機関との協議の進捗状況と施設整備等の今後のスケジュールを。

◆地下鉄大江戸線の延伸に関する質問

①大泉町から大泉学園通りのまちづくり整備と今後の進め方を。②大江戸線延伸とまちづくり推進の所見を。

放射線測定を実施し 安心・安全な練馬へ

練馬区議会公明党 内田ひろのり

◆環境まち

①歩行者デッキ、駅前広場を整備する。ユニバーサルデザインを考慮。②商店街と共に取り組む。③地区計画で整備方針に位置付ける。

◆「関係越高架下活用計画」について

①関係機関との協議の進捗状況と施設整備等の今後のスケジュールを。

◆地下鉄大江戸線の延伸に関する質問

①大泉町から大泉学園通りのまちづくり整備と今後の進め方を。②大江戸線延伸とまちづくり推進の所見を。

放射線測定を実施し 安心・安全な練馬へ

練馬区議会公明党 内田ひろのり

◆環境まち

①歩行者デッキ、駅前広場を整備する。ユニバーサルデザインを考慮。②商店街と共に取り組む。③地区計画で整備方針に位置付ける。

◆「関係越高架下活用計画」について

①関係機関との協議の進捗状況と施設整備等の今後のスケジュールを。

◆地下鉄大江戸線の延伸に関する質問

①大泉町から大泉学園通りのまちづくり整備と今後の進め方を。②大江戸線延伸とまちづくり推進の所見を。

平成23年第二回定例会の一般質問は、6月15日・16日・17日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所東庁舎3階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

※ICT...情報通信技術

◆防災計画について

問 ①これからの「区民防災組織」は、民間企業やNPO法人等の幅広い地域性や多くの知識を生かし、区と連携を図ることで、より強固な防災組織が確立されていくと考える。所見を。②「災害時要援護者名簿」の運用・管理方法については、喫緊の課題として、早急に見直す必要があると考える。所見を。③避難拠点の「避難者想定数」は現在1拠点60名となっているが、阪神淡路大震災以降の人口の増加状況を見ると、見直す必要があるのではないかと。区の見解は。④「ペット同行避難」については、避難訓練、避難所の整備、飼い主への周知が必要ではないか。⑤「災害時情報伝達方法」として、防災無線塔・安全安心パトローラーの更なる活用を求め、新たに地域FM局の開局を提案するが、区の見解はどうか。

答 ①「民間企業やNPO法人等の幅広い地域性や多くの知識を生かし、区と連携を図ることで、より強固な防災組織が確立されていくと考える。所見を。」について、区民・事業者・防災機関との協働による災害対策」をより実効性あるものとする。②「災害時要援護者名簿」の運用・管理方法については、喫緊の課題として、早急に見直す必要があると考える。所見を。」について、区民・事業者・防災機関との協働による災害対策」をより実効性あるものとする。③避難拠点の「避難者想定数」は現在1拠点60名となっているが、阪神淡路大震災以降の人口の増加状況を見ると、見直す必要があるのではないかと。区の見解は。④「ペット同行避難」については、避難訓練、避難所の整備、飼い主への周知が必要ではないか。⑤「災害時情報伝達方法」として、防災無線塔・安全安心パトローラーの更なる活用を求め、新たに地域FM局の開局を提案するが、区の見解はどうか。

◆区長の基本姿勢について
問 ①今こそ練馬駅北口区有地を「みどりの防災広場」に整備すべきではないか。②非核都市として福島原発事故による核の恐怖をどう捉えているか。③再生可能な自然エネルギー利用を進める積極的な具体策は。④地震当日の対応がまちまちだった学校の実態と対策を聞きたい。⑤中高生も支援の担い手。地域防災計画に位置づけよ。⑥防災計画や災害復興体制は男女共同参画で。⑦避難所での女性の相談窓口や保健師、

区民主体の地域変化に
対応できる区政へ

石黒 たつお

◆犬の飼い主マナーについて
問 飼い主のマナー改善・登録促進・狂犬病予防・咬傷事故防止啓発活動については、区内のペットショップ等と連携を図り、取り組んでほしいか。答 都がペットショップを指導している。今後とも、都と連携し、情報提供や協力要請を行っていく。

◆健康
問 都がペットショップを指導している。今後とも、都と連携し、情報提供や協力要請を行っていく。

◆区政の情報発信の充実
問 今後の決意と考えを。答 具体的な取り組み内容盛り込んだ計画を策定し、全庁をあげて改革を推進する。

◆区長の基本姿勢について
問 ①大震災の教訓から、予防の見地と正しい想定で十分な対策を。②福祉切り捨ての「行革」をやめ、介護、医療、子育てなどの基盤強化を。③開発優先の長期計画を止め、福祉・防災最優先の区政を。

◆区長
問 ①万全な防災体制を構築。②行革による財政力での福祉政策を推進。③災害に強いまちづくりを進める。

◆被災者支援について
問 ①区内避難者の実態調べ、国に支援強化求めよ。②必要なサービスや物資の提供図れ。

◆健康福祉
問 情報モラル研修を学校で実施。チェックリストは国や都の施策を注視し検討。調査・研究に着手を。

◆区内スポーツ施設について
問 ①スポーツ愛好者のためにも人工芝のグラウンドの整備を要望するかが。また、グラウンドの有効活用のため、屋外夜間照明施設の整備も要望するが所見を。②スポーツ振興事業に対する助成制度を活用し、スポーツ施設の整備・充実を。③総合体育館の再整備にあたっては50mプール設置の実現を。

◆教育
問 ①長期的な観点から導入を検討。照明施設は区民の意見も踏まえ検討。②積極的に導入し、一層の施設整備に努める。③基本計画で検討。

◆福祉
問 ①高齢者保健福祉計画等で検討。②施設整備と在宅サービスを充実。③要望した認可保育園の増設について。①認可保育園の増設は今年、昨年の規模で今後も行え。②面積基準の引き下げをやめよ。③保育の質落とす新システムの中止を求めよ。

◆国民健康保険について
問 区独自で低所得者などの保険料を引き下げよ。②測定結果を踏まえ、検討。③発電設備の導入を図る。太陽光発電の普及拡大の対策を進める。

3.11後、防災とみどりを
区政の中心に
きみがき 圭子



◆行政改革に対する取り組みについて
問 今後の決意と考えを。答 具体的な取り組み内容盛り込んだ計画を策定し、全庁をあげて改革を推進する。

◆区内スポーツ施設について
問 ①スポーツ愛好者のためにも人工芝のグラウンドの整備を要望するかが。また、グラウンドの有効活用のため、屋外夜間照明施設の整備も要望するが所見を。②スポーツ振興事業に対する助成制度を活用し、スポーツ施設の整備・充実を。③総合体育館の再整備にあたっては50mプール設置の実現を。

◆国民健康保険について
問 区独自で低所得者などの保険料を引き下げよ。②測定結果を踏まえ、検討。③発電設備の導入を図る。太陽光発電の普及拡大の対策を進める。

大震災の教訓に学び、
福祉・防災の区政へ
有馬 豊

◆災害弱者の防災対策について
 ①要援護者に防災救急キット助成や防災ずきんを無料配布すべき。②視覚障害者に防災ラジコを無料配布すべき。
 ◆健康福祉 ①検討。②他自治体の取り組み等を調査し検討。
 ◆福祉避難所について
 ①災害弱者の避難誘導体制の構築を。②福祉避難所の早期開設と直接避難の体制を。③福祉人材の確保を。④区民へ福祉避難所の周知徹底を。

◆健康福祉 ①実効的な対策を検討。②まず避難拠点を目指す方が安全。早期開設できるような福祉避難所指定の福祉施設の開設手続き等の改善に努める。③支援要請先リストの整備等を検討。④周知を図る。
 ◆災害時におけるガソリン等の確保と停電対策について
 ①公益性の高い事業者等へ優先給油を。②在宅療養患者の相談窓口を。③在宅療養患者へ自家発電機の貸出しを。④燃料確保対策を講じる。⑤保健相談所等が行っている。⑥課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆東日本大震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、一日も早い復旧、復興を祈念致します。
 ◆東日本大震災と防災対策の強化について
 ①防災計画やマニュアル類の見直しを。②避難拠点のあり方の認識と対応を。③練馬区は、火災警報器の設置状況が東京都平均よりも低い。引き続き普及活動を。
 ◆区長 ①今回の大震災で新たな課題も浮かび調査・検証中。区民の命と財産の確保を最優先に、計画を全面的に見直す。
 ◆危機管理 ②避難所及び防災活動の拠点。拠点活動が活発になるよう働きかけ等を強化。
 ③消防署と連携した相談等を実施。普及啓発に取り組み中。

◆練馬区の財政について
 ①政府に対して、区長会などの地方団体を通じ、財源者の相談窓口を。③在宅療養患者へ自家発電機の貸出しを。④燃料確保対策を講じる。⑤保健相談所等が行っている。⑥課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

災害弱者のさらなる支援と住宅の耐震強化を

練馬区議会公明党 西野 幸一

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆東日本大震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、一日も早い復旧、復興を祈念致します。
 ◆東日本大震災と防災対策の強化について
 ①防災計画やマニュアル類の見直しを。②避難拠点のあり方の認識と対応を。③練馬区は、火災警報器の設置状況が東京都平均よりも低い。引き続き普及活動を。
 ◆区長 ①今回の大震災で新たな課題も浮かび調査・検証中。区民の命と財産の確保を最優先に、計画を全面的に見直す。
 ◆危機管理 ②避難所及び防災活動の拠点。拠点活動が活発になるよう働きかけ等を強化。
 ③消防署と連携した相談等を実施。普及啓発に取り組み中。

◆練馬区の財政について
 ①政府に対して、区長会などの地方団体を通じ、財源者の相談窓口を。③在宅療養患者へ自家発電機の貸出しを。④燃料確保対策を講じる。⑤保健相談所等が行っている。⑥課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

みんなの声が活かされる区政を

練馬区議会みんなの党 山田 かずよし

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆アトリウムが消防法不適合
 ①建設時から15年もの間人々の集合場所として消防法不適合。②屋上へリポートは1m幅の狭い階段が続き重傷者担架搬送も不可能。③大震災時に帰宅困難者収容も違法で出来ず、更に高層庁舎は激揺れで倒壊の恐れも。違法建築を区民に釈明し改修を。④危機管理センター機能も疑問。
 ◆消防署に届出を行い、適法に行っている。②国の指導で整備。消防隊等の屋上からの進入が目的。③震災当日は400人超を受入れ、翌朝まで庁舎開放。庁舎は耐震性能を1.5倍で設計、顕著な被害なし。高齢者センターを取り壊す契約だ。暗く危険で不健康な高架下の高齢者センター計画が適切に対応。区民の命と財産を守るため初動対応の重要はいかにも高齢者を愚弄。大震災に「絶対安全」は無い。
 ◆経年劣化については、き法令遵守徹底の対策を進める。

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆東日本大震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、一日も早い復旧、復興を祈念致します。
 ◆東日本大震災と防災対策の強化について
 ①防災計画やマニュアル類の見直しを。②避難拠点のあり方の認識と対応を。③練馬区は、火災警報器の設置状況が東京都平均よりも低い。引き続き普及活動を。
 ◆区長 ①今回の大震災で新たな課題も浮かび調査・検証中。区民の命と財産の確保を最優先に、計画を全面的に見直す。
 ◆危機管理 ②避難所及び防災活動の拠点。拠点活動が活発になるよう働きかけ等を強化。
 ③消防署と連携した相談等を実施。普及啓発に取り組み中。

◆練馬区の財政について
 ①政府に対して、区長会などの地方団体を通じ、財源者の相談窓口を。③在宅療養患者へ自家発電機の貸出しを。④燃料確保対策を講じる。⑤保健相談所等が行っている。⑥課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

区政を問う

一般質問(要旨)

◆子育て支援について
 安心して働き続けることができるように。①学童クラブの延長保育の拡充を。②小学4年生以降の放課後対策を。
 ◆児童青少年 ①運営業務の委託化により拡大している。②クラブ事業と学校応援団ひろば事業が連携し取り組んでいる。
 ◆地デジ化への対応について
 ①公共施設での取り組みは。②高齢者世帯など、いまだ対応できていない世帯があると思われる。再度の周知を。
 ◆企画 ①6月末には全施設で対応完了。②今後も周知する。

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆東日本大震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、一日も早い復旧、復興を祈念致します。
 ◆東日本大震災と防災対策の強化について
 ①防災計画やマニュアル類の見直しを。②避難拠点のあり方の認識と対応を。③練馬区は、火災警報器の設置状況が東京都平均よりも低い。引き続き普及活動を。
 ◆区長 ①今回の大震災で新たな課題も浮かび調査・検証中。区民の命と財産の確保を最優先に、計画を全面的に見直す。
 ◆危機管理 ②避難所及び防災活動の拠点。拠点活動が活発になるよう働きかけ等を強化。
 ③消防署と連携した相談等を実施。普及啓発に取り組み中。

◆練馬区の財政について
 ①政府に対して、区長会などの地方団体を通じ、財源者の相談窓口を。③在宅療養患者へ自家発電機の貸出しを。④燃料確保対策を講じる。⑤保健相談所等が行っている。⑥課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな

◆健康福祉 ①燃料確保対策を講じる。②保健相談所等が行っている。③課題と認識。
 ◆東日本大震災の被災地と被災者への支援について
 ①宮城県亘理町への引き続きの支援を。②風評被害や被災地支援の強化を。③区内避難者への住宅提供の継続を。④27年度に耐震化率100%になるよう進める。
 ◆高齢者にやさしくまちづくり
 ①歩道にベンチの設置を。②急な坂道に手すりの設置とさらなる安全性の向上を。
 ◆分譲マンションの耐震
 ①検討する。②新たな



要請書

5月27日に提出しました。

「未臨界核実験」及び「類似の核実験」中止を求める要請書

我が国は、広島、長崎への原爆投下による被爆を経験した唯一の国であることから、多年にわたり、全世界に核兵器の廃絶を求め、また国際社会も核軍縮や核実験全面禁止への努力を積み重ねてきました。

練馬区は、昭和58年(1983年)10月3日に、すべての核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願って、「非核都市練馬区宣言」を決議いたしました。これまで、フランスや中国、更にインド、パキスタン、イギリスが行った核実験に抗議し、即時中止を求める要請も行ってきました。また、北朝鮮が行った核実験についても、厳重に抗議するとともに、核実験を今後行わないよう強く求める決議をいたしました。

貴国は、平成21年(2009年)4月にプラハにおいて、「核兵器のない世界をめざす」と宣言したにもかかわらず、新型の核性能実験を行ったことは、核兵器の維持、開発につながる恐れがあり、誠に遺憾であります。

よって、本区は、貴国が今後、一切の「未臨界核実験」及び「類似の核実験」を即時中止し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に先導的役割を果たされるよう強く要請いたします。

平成23年(2011年)5月27日

▷ あて先:アメリカ合衆国大統領